

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校1年	国語	言語文化	2	S S
教科書・副教材		尚文出版『言語文化の基礎学習』/第一学習社『ダブルマスター古典文法＋漢文句形』 第一学習社『ダブルマスター古典文法＋漢文句形 準拠ノート』/桐原書店『読んで見て覚える 重要古文単語 315』/京都書房『新訂 国語図説 五訂版（デジタル）』		

科目の目標			
S S コースの授業では、高校1年次に古文単語・古典文法・さまざまな種類の文章読解など古典に関する基礎を築いて、模試や入試の基礎学力を養うことを重視します。基本的に週1回古文単語テストを実施し、作品読解と並行して1年間で古文単語集の第1章以上を修了し、古典文法は用言と助動詞までを修了します。また、進度を確保するだけでなく定着していることにも気を配ります。文章読解に関しては、なるべく多様な種類の作品に触れつつ、意味解釈だけに終わらないように配慮し、パフォーマンス課題やリフレクションを通して3観点からの評価ができるように配慮します。なお、現代の文学的文章の分野は、2年生時の「文学国語」で扱うこととします。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	古典文法の用言・助動詞について理解している。古文単語は必要語彙数の約半分理解している。また、漢文句法は再読文字、受身、使役等を理解している。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて内容を的確に捉えることができる。	作品背景や文章に興味を持ち、自ら意欲的に取り組み、言葉を通して自ら表現することで、他者や社会に関わろうとしている。
評価の方法	【成果物】 〈 〉は略 パフォーマンス課題〈パ〉、学習の成果〈成〉リフレクション〈リ〉、小テスト〈小〉 【ペーパーテスト】 定期考査〈考〉	【成果物】 〈パ〉、〈成〉、〈リ〉 【ペーパーテスト】 〈考〉	【成果物】 〈パ〉、〈成〉、〈リ〉

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	「児のそら寝」、動詞の活用	5	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	訓読の基本、故事成語「矛盾」「推敲」	4	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	『枕草子』「ありがたきもの」、形容詞・形容動詞	4	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	『徒然草』「九月二十日のころ」、助動詞①	3	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	寓話「借虎威」、使役・受身	2	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	1学期期末考査		
2学期	『伊勢物語』「東下り」、助動詞②	6	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	絶句と律詩、和歌	4	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	2学期パフォーマンスウィーク		
	「土佐日記」『馬のはなむけ』『帰京』、助動詞③	8	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	史話『晏子之御』	4	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	2学期期末考査		
3学期	「平家物語」『木曾の最期』	6	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	『論語』『孟子』	6	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	学年末考査		